

# 安全データシート

作成日2024年8月28日

## 1. 化学品及び会社情報

製品名：KFシールテクト SPコート  
会社名：KFケミカル株式会社  
住所：東京都港区新橋 1-1-1 日比谷ビルディング 9F  
電話番号：03-6629-9033  
FAX番号：03-6629-9023  
緊急連絡先：研究開発本部 研究開発部  
緊急連絡先電話番号：029-869-9710  
推奨用途及び使用上の制限事項：透光板飛散防止用途のみ

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類（日本塗料工業会塗料用GHS分類ソフトによる）

引火性液体：第二石油類

急性毒性

経口：分類できない

経皮：分類できない

吸入（ガス）：区分に該当しない

吸入（蒸気）：分類できない

吸入（粉塵、ミスト）：分類できない

皮膚腐食性／刺激性：区分1

眼に対する重篤な損傷性／刺激性：区分1

感作性

呼吸器：分類できない

皮膚：区分1

生殖細胞変異原性：分類できない

発がん性：分類できない

生殖毒性：区分1

特定標的臓器毒性（単回暴露）：区分3（気道刺激性・麻酔作用）

特定標的臓器毒性（反復暴露）：分類できない

吸引性呼吸器有害性：分類できない

水生環境

急性有害性：区分1

長期間有害性：分類できない

オゾン層への有害性：分類できない

### GHSラベル要素



### 危険有害性情報：

H315：皮膚刺激

H317：アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

H320：眼刺激

H332：吸入すると有害

H334：吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ

- H335 : 呼吸器への刺激のおそれ
- H336 : 眠気またはめまいのおそれ
- H340 : 遺伝性疾患の恐れ
- H360 : 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

## 注意書き :

### 《安全対策》

- P202 : 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- P210 : 熱, 高温のもの, 火花, 裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- P233 : 容器を密閉しておくこと。
- P240 : 容器を接地しアースをとること。
- P241 : 防爆型の【電気機器／換気装置／照明機器】を使用すること。
- P242 : 火花を発生させない工具を使用すること。
- P243 : 静電気放電に対する措置を講ずること。
- P260 : 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- P264 : 取扱い後は手、眼、口をよく洗うこと。
- P270 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- P271 : 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- P272 : 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- P273 : 環境への放出を避けること。
- P280 : 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

### 《応急措置》

- P301+P310 : 飲み込んだ場合；直ちに医師に連絡すること。
- P303+P361+P353 : 皮膚（又は髪）に付着した場合；直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
- P304+P340 : 吸入した場合；空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- P305+P351+P338 : 眼に入った場合；水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- P308+P313 : ばく露又はばく露の懸念がある場合；医師の診察／手当てを受けること。
- P312 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。
- P331 : 無理に吐かせないこと。
- P333+P313 : 皮膚刺激又は発疹が生じた場合；医師の診察／手当てを受けること。
- P370+P378 : 火災の場合；消火するために適合した消火器を使用すること。
- P391 : 漏出物を回収すること。

### 《保管》

- P403+P235 : 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- P405 : 施錠して保管すること。

### 《廃棄》

- P501 : 内容物／容器を地方／国の規則に従って廃棄すること。

## GHS分類に該当しない他の危険有害性

- 有害性：データなし
- 環境影響：データなし
- 物理的及び化学的危険性：可燃性がある。熱、火花及び火炎で着火することがある。
- 重要な徴候：特になし
- 想定される非常事態の概要：特になし
- 国／地域情報：引火性液体

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名：ポリイソシアネート類溶液

濃度又は濃度範囲：

化学名又は一般名	CAS番号	官報公示整理番号		濃度又は濃度範囲
		化審法	安衛法	
炭化水素類	64742-95-6	9-1694	9-1694	26-27%
上記内（キシレン異性体）	1330-20-7	3-3	3-3	0.3%
（クメン）	98-82-8	3-22	3-22	1.9%
（1,3,5-トリメチルベンゼン）	108-67-8	3-7	3-7	8.6%
（1,2,4-トリメチルベンゼン）	95-63-6	3-7	3-7	36%
（1,2,3-トリメチルベンゼン）	526-73-8	3-7	3-7	5.0%
ジメチルカーボネート	616-38-6	2-2853	2-2853	6%
ポリイソシアネート類	—	—	—	50%
2-エチルヘキサン酸	149-57-5	(2)-608	(2)-608	0.1%

法規制対象成分：

成分	安衛法	PRTR法
2-エチルヘキサン酸	表示対象物／通知対象物 第 69号	指定化学物質に該当しない
1,2,4-トリメチルベンゼン	表示対象物／通知対象物 第404号	第一種指定化学物質 第296号
1,3,5-トリメチルベンゼン	表示対象物／通知対象物 第404号	第一種指定化学物質 第297号

GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物：特になし

## 4. 応急措置

### 吸入した場合：

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。呼吸困難な場合は酸素吸入をさせる。呼吸が止まっている場合は衣類を緩めて気道を確保したのち、人工呼吸を行う。

### 皮膚に付着した場合：

汚染された衣類を直ちにすべて脱ぐこと。必要であれば衣服等を切断する。皮膚を速やかに多量の水と石鹼で洗浄すること。皮膚刺激が生じた場合や気分が悪い時は医師の診断、手当てを受けること。汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合、医師の診察、手当てを受けること。外観に変化が見られたり、痛みがある場合はただちに直ちに医師の診断を受けること。

### 目に入った場合：

直ちに流水で少なくとも20分以上洗浄すること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外しその後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合や気分が悪い時は医師の診断、手当てを受けること。

### 飲み込んだ場合：

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。被災者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない。医師の診断、手当てを受けること。いずれの場合も、医師への受診時には製品または安全データシートを持参すること。

### 最も重要な徴候及び症状：

吸入すると、咳、咽頭痛、めまい、頭痛。皮膚に接触すると、皮膚の乾燥、発赤。眼に接触すると、発赤、痛み。飲み込むと、灼熱感、腹痛、咳、咽頭痛、めまい、頭痛、吐き気。

### 応急措置をする者の保護：

救助者は、状況に応じて適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。

### 医師に対する特別な注意事項：

症状に合わせて処置すること。症状は遅れて発現することがあり、過剰に曝露したときは医学的な経過観察が必要である。

## 5. 火災時の措置

### 消火剤：

泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂類

### 使ってはならない消火剤：

棒状放水、水噴霧

### 火災時の特有の危険有害性：

火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。火災の場合、有害物質（一酸化炭素、二酸化炭素）が放出される可能性がある。極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。加熱により容器が爆発するおそれがある。引火性の高い液体及び蒸気。

### 特有の消火方法：

火元への着火源を断ち、適切な消火剤を使用して風上から消火する。消火作業は可能な限り風上から行う。関係者以外は安全な場所に退避させること。漏えいした場合、安全に対処できるならば着火源を除去すること。危険でなければ火災区域から容器を移動する。容器が熱に晒されているときは、移動させない。散水以外の消火剤で消火の効果がない大きな火災の場合には散水する。汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。火災の残留物や汚染した消火廃水は関係法規に従って処理する。現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。消火後は漏れた液体の中和作業を行う。その間には部外者を立ち入らせない。

### 消火を行う者の保護：

防護服（耐熱性、耐薬品性）を着用するほか、状況に応じて非浸透性手袋、有機ガス用防毒マスクを着用する。風上から消火する。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項／保護具及び緊急時措置：

全ての着火源を取り除く。直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外の立入りを禁止する。密閉された場所に立入る前に換気する。作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。風上に留まる。低地から離れる。

### 環境に対する注意事項：

環境中に放出してはならない。排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。

### 回収・中和

不活性材料（例えば、乾燥砂又は土等）で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。密閉できる遮光性の空容器に回収すること。広範囲へ広がらないようにすること（例、土嚢などで堰を設置する）。こぼれた製品を、再生利用の目的で決して元の容器に戻さない。

### 封じ込め及び浄化の方法・機材：

危険でなければ漏れを止める。漏出物を取扱うとき用いる全ての設備は接地する。

少量の場合：吸着材（おがくず、土、砂、ウエス等）で吸着させ空容器に回収した後、残りをウエス等によく拭き取る。

多量の場合：土砂等（不燃物）で囲い流出防止をした後で、衝撃、静電気にて火花を発生させない材質の用具でドラム等の空容器に回収する。回収物類の廃棄物は関係法令に従って処理すること。

### 二次災害の防止策：

すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。蒸気発生が多い場合は、噴霧注水により蒸気発生を抑制する。周辺の着火源となるものを速やかに除く（喫煙、火花、火炎の禁止）とともに、着火した場合に備えて消火剤を準備する。下水道、河川等に流出させ、二次災害、環境汚染を起こさないように注意する。漏洩時は事故の未然防止及び拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策：

「8. 曝露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。電気設備及び工具は防爆型の物を使用し、静電気放電に対する予防措置を講ずること。周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。禁煙。

#### 局所排気・全体排気：

「8. 曝露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。液の漏洩や蒸気の発散を極力防止する。十分な喚起を確保する。適切な換気装置の下でのみ使用する。

#### 安全取扱い注意事項：

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。使用前に取扱説明書を入手すること。取扱後はよく手を洗うこと。ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。眼に入れないこと。皮膚と接触しないこと。容器を開けたままにしない。容器を接地しアースを取る。容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。感作性を示す人には取り扱わせない。すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

#### 接触回避：

高温物、スパーク、火気を避け、酸化性物質、有機過酸化物との接触を避ける。  
水、アミン、アルコール、その他活性水素含有化合物との接触を避ける。

#### 衛生対策：

皮膚や眼への接触を避ける。接触した場合は洗浄する。蒸気またはミストの吸入を避ける。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。汚染された衣服は慎重に交換、洗浄しなければならない。休憩前や作業終了時には石鹸と水で皮膚を洗い、洗浄後は脂肪分の多いスキンケア製品を塗布する。使用するときには飲食、喫煙をしないこと。

### 保管

#### 技術的対策：

消防法の規制に従う。保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、はりを不燃材料で作ること。保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、天井を設けないこと。保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。保管場所の床は適当な傾斜をつけ、適当な溜升を設けること。保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

#### 適切な保管条件：

容器を密閉して冷乾所にて保存すること。施錠して保管すること。日光から遮断すること。発火源から遠ざける。禁煙。静電気の蓄積を防止する手段を講ずること。酸化剤から離して保管すること。内容物を窒素中で保管すること。長期保存は、劣化を生じるので避けること。指定数量 1/5 以上の危険物は、貯蔵所以外の場所でこれを貯蔵してはならない。

#### 安全な容器包装材料：

消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用すること。

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 設備対策：

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。取り扱い場所の電気機器は防爆型とし、静電気放電に対する予防処置を講じること。ばく露を防止するため、装置の密閉化又は局所排気装置を設置すること。「火気厳禁」、「関係者以外立入禁止」等の必要な標識を見やすい箇所に掲示すること。安全管理のため状況に応じて、ガス検知器等を設置する。

### 許容濃度：

2-エチルヘキサン酸	TWA 5 mg/m <sup>3</sup>	ACGIH
1,2,3-トリメチルベンゼン	TWA 25 ppm	日本産業衛生学会
1,2,3-トリメチルベンゼン	25 ppm	ACGIH
1,2,4-トリメチルベンゼン	TWA 10 ppm	日本産業衛生学会
1,2,4-トリメチルベンゼン	25 ppm	ACGIH
1,3,5-トリメチルベンゼン	TWA 10 ppm	日本産業衛生学会
1,3,5-トリメチルベンゼン	25 ppm	ACGIH

### 保護具

#### 呼吸用保護具：

適切な呼吸器保護具（防毒マスク（有機ガス用）、高濃度の場合、送気マスク空気呼吸器）を着用すること。吸着缶の厳格な管理を行うこと。

#### 手の保護具：

保護手袋（耐有機溶剤用手袋）を着用すること。

#### 眼／顔面の保護具：

眼の保護具（ゴーグルや顔面シールド）を着用すること。

#### 皮膚及び身体の保護具：

保護靴（静電靴）、耐油性（不浸透性・静電気防止対策用）前掛け、防護服（静電気防止対策用）等保護具を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

形状：液体

色：淡黄色透明

臭い：独特な臭気

pH：該当しない

融点／凝固点：データなし

沸点：データなし

初留点：データなし

沸騰範囲：データなし

引火点：データなし

自然発火温度（発火点）：データなし

燃焼性（固体、ガス）：データなし

燃焼又は爆発範囲（下限）：データなし

燃焼又は爆発範囲（上限）：データなし

蒸気圧：データなし

蒸気密度：データなし

蒸発速度：データなし

比重（相対密度）：データなし

溶解性：データなし

オクタノール／水分配係数：データなし

分解温度：データなし

その他のデータ：特になし



## 10. 安定性及び反応性

### 反応性：

水と反応して二酸化炭素を発生する。アルコール、アミン等の活性水素基を持つ物質と反応する。塩基性物質、三級アミン等により重合反応する。

### 安定性：

「7. 取扱い及び保管上の注意」の保管条件で安定。

### 危険有害反応可能性：

強酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。湿気のあるところでは加水分解されて反応性の高いアミンとヒドロキシル基が生じるため、他の化学品と混触させた場合に不測の反応が起こるおそれがあるので注意する。火災の場合、一酸化炭素等の有害物質が放出される可能性がある。

### 避けるべき条件：

加熱、炎、火花、静電気放電。長期にわたる直射日光。混触危険物との接触。空気との爆発限界内の混合ガスの形成。

### 混触危険物質：

酸化剤、強酸、過酸化物、銅、亜鉛、アルミニウム、活性水素含有物質等。

### 危険有害な分解生成物：

一酸化炭素、二酸化炭素、テトラヒドロフラン、窒素酸化物、刺激性／毒性のガス。

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

経口：分類できない

経皮：分類できない

吸入：分類できない

皮膚腐食性・刺激性：区分2

キシレン異性体混合物	区分2
1,2,3-トリメチルベンゼン	区分2
1,2,4-トリメチルベンゼン	区分2
1,3,5-トリメチルベンゼン	区分2
揺変性付与剤	区分2
紫外線吸収剤	区分1
光安定剤1	区分1
光安定剤2	区分2
2-エチルヘキサン酸	区分1
ポリイソシアネート類	区分1

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：区分1

キシレン異性体混合物	区分2A
炭化水素類	区分2A
1,2,4-トリメチルベンゼン	区分2B
1,3,5-トリメチルベンゼン	区分2B
揺変性付与剤	区分2
ポリイソシアネート類	区分2A
2-エチルヘキサン酸	区分1

呼吸器感作性：分類できない

皮膚感作性：区分1

ポリイソシアネート類	区分1
------------	-----

生殖細胞変異原性：分類できない

発がん性：分類できない

生殖毒性：区分1

ジメチルカーボネート	区分2
2-エチルヘキサン酸	区分1B
キシレン異性体混合物	区分1B
揺変性付与剤	区分1

特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）：区分3（気道刺激、麻酔作用）

キシレン異性体混合物	区分3（麻酔作用）
炭化水素類	区分3（気道刺激性、麻酔作用）
1,2,3-トリメチルベンゼン	区分3（麻酔作用）
1,2,4-トリメチルベンゼン	区分3（気道刺激性、麻酔作用）
1,3,5-トリメチルベンゼン	区分3（気道刺激性、麻酔作用）
揺変性付与剤	区分3（麻酔作用）

特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）：分類できない

吸引性呼吸器有害性：分類できない

## 12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）：区分1

光安定剤1	区分1
-------	-----

水生環境有害性 長期（慢性）：データなし

残留性・分解性：データなし

生体蓄積：データなし

土壤中の移動性：データなし

オゾン層への有害性：該当しない

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。本製品を排水溝、水路、地面に流さないこと。本製品は引火性廃油（特別管理産業廃棄物）である。

汚染容器及び包装：

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制：

海上規制情報：IMO の規定に従う。 UN No.：1263 Class：3 Packing Group：II

航空規制情報：ICAO の規定に従う。 UN No.：1263 Class：3 Packing Group：II

### 国内規制：

陸上規制情報：消防法の規定に従う。道路法の規定に従う。

海上規制情報：船舶安全法の規定に従う。国連番号：1263 クラス：3 容器等級：II

航空規制情報：航空法の規定に従う。国連番号：1263 クラス：3 容器等級：II

### 特別の安全対策：

消防法の規定に従う。危険物は当該危険物が転落し、又は危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。危険物又は危険物を収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。危険物の運搬中、危険物が著しく漏れる等災害が発生するおそれがある場合には、災害を防止するための応急措置を講ずると共に、最寄りの消防機関その他の関係機関に通報すること。食品や飼料と一緒に輸送してはならない。重量物を上積みしない。必要があればイエローカードを保持する。

応急措置指針番号：128（引火性液体）

## 15. 適用法令

### ・製品

労働安全衛生法施行令別表1-4 引火性の物

有機溶剤中毒予防規則 第3種有機溶剤

消防法第2条危険物 別表第4類 引火性液体（第2石油類・非水溶性液体）

### ・ジメチルカーボネート

労働安全衛生法施行令別表1-4 引火性の物

消防法第2条危険物 別表第4類 引火性液体（第1石油類・非水溶性液体）

### ・1,2,4-トリメチルベンゼン、1,3,5-トリメチルベンゼン

化審法第2条第5項 優先評価化学物質

PRTR法施行令第1条別表第1 第1種指定化学物質

労働安全衛生法第57条に規定される表示対象物

労働安全衛生法第57条の2に規定される通知対象物

労働安全衛生法第57条の3に規定される調査対象物

海洋汚染防止法施行令別表第1 有害液体物質（X類）

海洋汚染防止法施行令別表第1 有害液体物質（X類）

### ・キシレン異性体混合物

化審法第2条第5項 優先評価化学物質

PRTR法施行令第1条別表第1 第1種指定化学物質

労働安全衛生法施行令別表1-4 引火性の物

労働安全衛生法施行令別表6の2 有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第1号 第2種有機溶剤

労働安全衛生法第57条に規定される表示対象物

労働安全衛生法第57条の2に規定される通知対象物  
労働安全衛生法第57条の3に規定される調査対象物  
毒劇法指定令第2条 劇物  
悪臭防止法施行令第1条 特定悪臭物質  
水質汚濁防止法施行令第3条の3 指定物質  
大気汚染防止法 有害大気汚染物質  
海洋汚染防止法施行令別表第1 有害液体物質（Y類）  
海洋汚染防止法施行令別表第1の4 危険物

## 16. その他の情報

引用文献：各種SDS

---

- (1) このデータシートは、製品に関する情報提供を目的としたものであって、その記載内容に関し、弊社が売主その他の立場で保証責任を負うものではありません。
  - (2) このデータシートは作成日又は改訂日までに弊社が入手した情報に基づいて作成しておりますが、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。
  - (3) このデータシートは通常想定される保管方法及び取扱い方法の範囲における情報提供です。したがって、特殊な保管又は取扱いを行う場合は、その保管又は取扱いに適した安全対策を実施の上ご利用下さい。
  - (4) 本製品の貴社の用途に対する法規制、適合性及び安全性については、弊社では確認しておりませんので、調査又は試験により確認の上ご使用ください。
  - (5) 貴社において本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法等輸出関連法規を遵守のうえ、輸出してください。
-

御 中

年 月 日

アイカ工業株式会社 甚目寺工場  
化成品カンパニー 品質管理グループ  
お問い合わせ電話番号 052-443-4811

## SDS（安全データシート）のご送付案内とお願い

拝啓

貴社いよいよご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、労働省の有害性等情報通知制度に基づき、下記品目のSDSを送付させていただきます。お取り扱いをされます貴社関係者のすべての皆様方に当SDSをご参考にして頂き、有害性情報等についてご周知くださるようお願い致します。

尚、誠に恐れ入りますが、SDSを受領されましたら「受領書」欄にご記入のうえ、速やかに弊社返送先までFAXにてご返送くださいますよう、併せてお願い申し上げます。

店所記入欄

店所名：	担当者：
ご送付日： 年 月 日	
SDS送付先顧客様：	電話番号：
製品名	
記入のうえ顧客様送付前に甚目寺工場生産企画部宛にFAXお願いします。	

## SDS受領書

製品名 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

返送先  
アイカ工業株式会社 甚目寺工場  
化成品カンパニー 生産企画部  
FAX番号 **052-443-4825**

年 月 日

貴社名： \_\_\_\_\_  
ご担当者名： \_\_\_\_\_ 印  
ご住所： \_\_\_\_\_  
電話番号： \_\_\_\_\_

ご担当部署： \_\_\_\_\_

ご記入のうえ、切り離さずに本紙をそのまま返送先までFAXにてご返送下さいますようお願い申し上げます。

以下、余白

## 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

[供給者]	会社	アイカ工業株式会社
	住所	愛知県あま市上萱津深見24番地
	担当部門	化成品カンパニー 品質管理グループ
	電話番号	052-443-4811 FAX番号 052-443-4825
	緊急連絡先	担当部門に同じ
整理番号:	D J U U - 0 0 3 8 - 2	改訂日 2021年07月08日 作成日 2017年12月01日

化学品の名称 J U U - C E <JUU-CE>  
(化学名, 商品名)

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類:  
可燃性固体 区分に該当しない

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

ラベル要素:

・絵表示 なし

・注意喚起語 非該当

・危険有害性情報  
該当なし

・注意事項 (GHS 対応表記)  
該当なし

※製品ラベルの有害性情報は製品群毎に共通の内容としていますので、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物  
化学名又は一般名: ポリエステル繊維シート  
成分及び含有量:

成分名	含有率 (%)	C A S No.	化審法
ポリエチレンテレフタレート	99以上	25038-59-9	既存
サイジング剤	1以下	-	既存

## 4. 応急措置

目に入った場合: ・眼球を傷つける可能性があるので大量の清浄な流水で15分以上洗眼した後、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合: ・水と石鹼でよく洗う。かゆみ、炎症が出た場合は、直ちに医師の診断を受ける。

吸入した場合: ・充分にうがいをした後、空気の新鮮な場所に移し、安静・保温に努め、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合: ・水で口の中をよく洗い、直ちに医師の診断を受ける。無理に吐き出させないようにする。

## 5. 火災時の措置

消火方法: ・火元への燃焼源を断ち、粉塵を巻き上げない様に注意しながら、消火剤を使用して風上から消火する。  
・保護衣を着用するほか、状況によっては、不浸透性手袋、有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。

消火剤: 水 [O] , 二酸化炭素 [O] , 泡 [O] , 粉末 [O] , 乾燥砂 [O] その他 ( )

使ってはならない 特になし  
消火剤:

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具および緊急措置: ・保護眼鏡, 保護手袋, 防毒マスク等を着用して作業する。

- 環境に対する注意事項： ・排水系等の水面に漏出した場合は、魚類・鳥類等への悪影響を考え全て回収すること。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材： ・ほうき等で回収する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い： ・大量に取り扱う場合は集塵装置を設置する。  
・常温で発火、爆発のおそれはないが、静電気火花を着火源として、粉塵爆発を起こす危険性があるので、確実に接地を行い、導電性材料を用いる等の対策が必要である。  
・取り扱い時、粉塵が立ち易いので、目の保護および吸入を防止するため、保護眼鏡・防塵マスク・保護手袋の着用が好ましい。  
・床面にこぼれた粉体はつねに清掃して取り除く。放置すると足許が滑って転倒を招く。
- 保管： ・直射日光、水濡れ、過激な温度変化等の場所は避ける。  
・ケーキングを防止するために、多段積みを避け、冷暗所での保管すること。  
・貯蔵または取扱い場所でみだりに火気を使用してはならない。

## 8. 暴露防止及び保護措置

- 暴露濃度基準：
- | 成分名   | 管理濃度   |
|-------|--|
| 設備対策： | ・管理濃度を参考に、局所排気装置などの排気のための装置を設置する。<br>・作業場には、洗顔器を設置すること。                                  |
| 保護具：  | 呼吸用保護具： 状況に応じ、粉塵マスクを着用する。<br>保護眼鏡： 状況に応じ、保護眼鏡を着用する。<br>保護手袋： 状況に応じ、PE、ゴム製等の非浸透性の手袋を着用する。 |
|       | 保護衣： 状況に応じ、長袖作業衣等を着用する。  |

## 9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態： シート状
- 色： 白色
- 臭い： ほとんどなし
- 融点／凝固点： 255℃（繊維として）
- 沸点又は初留点及び沸点範囲： 該当しない
- 可燃性： データなし
- 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界： データなし
- 引火点： 399℃（繊維として）
- 自然発火点： 485℃（繊維として）
- 分解温度： データなし
- pH： 該当しない
- 動粘性率： データなし
- 溶解度： 水に不溶、有機溶剤には膨潤する。
- n-オクタノール/水分分配係数： データなし
- 蒸気圧： データなし
- 密度及び／又は相対密度： 約1.4 g/cm<sup>3</sup>（繊維として）
- 相対ガス密度： データなし
- 粒子特性： データなし

## 10. 安定性及び反応性

- 反応性： 通常の手扱い条件では反応性はない。
- 化学的安定性： 通常の手扱い条件では安定。
- 危険有害反応可能性： 通常の手扱い条件では危険有害反応を起こさない。
- 避けるべき条件： 過激な温度変化等の場所は避ける。
- 混触危険物質： アルカリによりエステル加水分解が促進されるため、注意が必要である。
- 危険有害な分解生成物： 燃焼時には一酸化炭素、二酸化炭素の有害ガスが発生することがある。

## 11. 有害性情報



[GHS分類]	急性毒性：	経口：製品の急性毒性データが不十分のため、分類できない。 経皮：製品の急性毒性データが不十分のため、分類できない。 気体：製品の急性毒性データが不十分のため、分類できない。 蒸気：製品の急性毒性データが不十分のため、分類できない。 粉じんおよびミスト：製品の急性毒性データが不十分のため、分類できない。
	皮膚腐食性／刺激性： 眼に対する重篤な損傷／眼刺激性：	製品の皮膚腐食性データが不十分のため、分類できない。 製品の眼に対する重篤な損傷性データが不十分のため、分類できない。
	呼吸器感受性：	製品の呼吸器感受性データが不十分のため、分類できない。
	皮膚感受性：	製品の皮膚感受性データが不十分のため、分類できない。
	生殖細胞変異原性：	製品の生殖細胞変異原性データが不十分のため、分類できない。
	発がん性：	製品の発がん性データが不十分のため、分類できない。
	生殖毒性：	製品の生殖毒性データが不十分のため、分類できない。
	特定標的臓器毒性（単回暴露）：	製品の特定標的臓器毒性（単回ばく露）データが不十分のため、分類できない。
	特定標的臓器毒性（反復暴露）：	製品の特定標的臓器毒性（反復ばく露）データが不十分のため、分類できない。
	誤えん有害性：	製品の誤えん有害性データが不十分のため、分類できない。
	刺激性（皮膚，眼）：	・皮膚をわずかに刺激する。繰り返し、長期間の接触は、皮膚炎を起こす可能性がある。また、繰り返し、長期間の接触、又は吸入は人によってアレルギー反応を引き起こす可能性がある。

## 成分の急性毒性：

成分名	LD50 (mg/kg)	生物種
-----	-----------------	-----

## 12. 環境影響情報

[GHS分類]	水生環境有害性 短期（急性）：	製品として、GHS判定上分類できない。
	水生環境有害性 長期（慢性）：	製品として、GHS判定上分類できない。
	生態毒性：	データなし。
	残留性・分解性：	データなし。
	生体蓄積性：	データなし。
	土壤中の移動性：	データなし。
	オゾン層への有害性：	モントリオール議定書の附属書に記載される物質成分はない。

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	・廃棄処分をする場合は一般に焼却または埋め立てにより処理する。 ・焼却を行う際は焼却設備を用いての焼却が一般的であり、大気汚染防止等に適合した処理を施す。 ・埋め立てる際は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って処理する。
汚染容器・包装：	内容物を完全に除いた後処分する。処理は法規の規定に従って行う。

## 14. 輸送上の注意

国連番号：	非該当
品名：	非該当
国連分類：	非該当
容器等級：	非該当

「取扱い及び保管上の注意」の項に記載による他、引火性の強い有害な液体に関する一般的な注意による。  
その他、消防法，船舶安全法等の法令に定める所に従う。  
容器に漏れない事を確かめ、転倒，落下，破損がないように、積み込み荷崩れの防止を確実にを行う。

---

## 15. 適用法令

消防法：	非該当
毒物劇物取締法：	非該当
労働安全衛生法：	
[表示対象物質]	非該当
[通知対象物質]	非該当
[特化則]	非該当
[有機則]	非該当
P R T R 法：	
[第1種指定化学物質]	非該当
[第2種指定化学物質]	非該当

---

## 16. その他の情報

この安全データシートは、JIS Z 7253(2019)に基づいて記載しております。記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては情報提供であり、いかなる保証もなすものではありません。  
また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

### 引用文献：

- |                                    |            |
|------------------------------------|------------|
| ・ 1 4 1 0 2 の化学商品                  | 化学工業日報社    |
| ・ 化学物質の危険，有害便覧                     | 中央労働災害防止協会 |
| ・ 知っておきたい職場の化学物質                   | 中央労働災害防止協会 |
| ・ G H S 対応による混合物（化学物質）の M S D S 作成 | 中央労働災害防止協会 |
| ・ 製品安全データシートの作成指針                  | 日本化学工業協会   |
-